祝！第7回いい川・いい川づくりワークショップで「百間川分流部の改築」が技術賞を受賞しました。

岡山河川事務所

9月20日(土)・21日（日）に、国立オリンピック記念青少年総合センター （東京都渋谷区代々木神園町）で開催された「いい川・いい川づくりワークショップ（主催：いい川・いい川づくり実行委員会）」において、岡山河川事務所　が技術賞を受賞しました。

応募内容は、「百間川分流部の改築」における、歴史・風土や環境の保全、地域連携等による川づくりについてです。従来の大規模堰改修の計画から、長年の水理検討・模型実験等により「治水安全度の確保」と、江戸時代の遺跡「一の荒手」「二の荒手」保存の両立を目指す方針に変更したことを、全体発表とパネル展示で紹介しました。

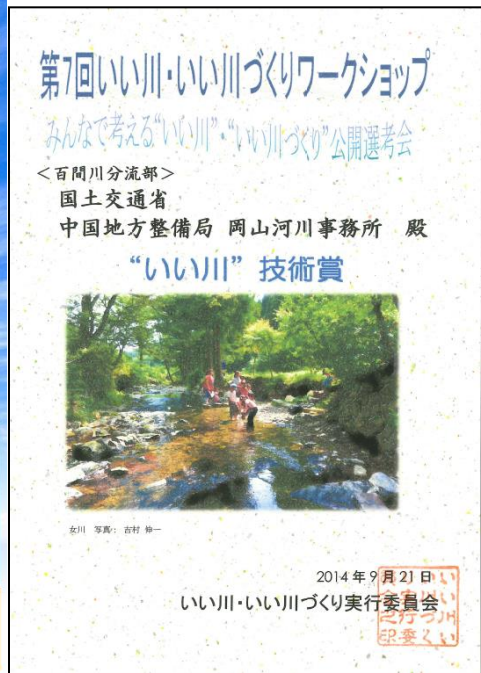
テーブル選考（一次予選）では、過去からの治水対策の経緯や、荒手の仕組み、自然環境への配慮事項についても審査員から質問があり、全体発表で説明できなかった内容も十分に説明することができました。

また本WSには、全国で28河川、中国地方から5河川の参加が有り、中国地方は全て岡山県の旭川水系の団体が占め、話題となりました。さらに、旭川を代表する「AR－NET　源流の碑」が、栄えあるグランプリを獲得し、岡山河川事務所を含め4団体が受賞する快挙で、「岡山！旭川！！」の名前を全国に轟かせました。

今年度は、国内最大規模のライジングセクターゲートである百間川河口水門の完成予定であり、百間川分流部の本格工事着手の年でもあります。また、AR－NETによる「百間川源流の碑」の建立も予定されています。引き続き、事業の早期完成と地域の皆さまに喜んで頂ける旭川を目指して事業を進めていきたいと思います。

発表状況と会場の様子

表彰式の様子（AR－NET竹原氏）

展示パネル

技術賞の賞状